

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 令和3年度(2021年度)  
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

**I 施設の管理概要**

指定管理者名	ひとづくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	① 所在：宇城市豊野町山崎1775 ② 施設：宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等 ③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。
指定管理料	305,712,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

**II 管理運営の評価**

**1 管理業務の水準の評価**

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	15,800人	12,001人	前年度実績10,685人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

**【点検・調査結果及び評価】**

新型コロナウイルスの影響で受入数を定員の概ね半数を目安としているため、研修者延べ数はコロナ前と比べると減少しているが、前年度実績と比べると増加しているため、コロナ禍でも工夫しながら受け入れを行ったと認められる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しているため、期間中の事故発生が0であった点について評価できる。

## 2 管理業務実施状況

### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	自家用電気工作物点検	月1回	専門業者に委託
	昇降機設備保守点検	月1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	水質検査	年2回	専門業者に委託
	浄化槽保守点検	月4回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	アスレチック設備点検	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

## ② 運営事業実績

### 【主な事業・イベント】

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
Nature Family Land (全3回)	4/29 10/30～ 10/31 2/28	24人 16人 24人	キャンプ活動を通して家族の親睦を深めるとともに、キャンプスキルと楽しさを学ぶ。また、自然に触れることで子どもたちの感受性や自主性を育む。
キャンプ事業サポート (全6回)	5/2 6/6 9/26 12/5 2/5 2/6	25人 34人 18人 21人 8人 14人	アウトドア活動に興味がある方を対象に、職員の専門性を活かし、事前の計画から当日の運営までのアドバイスやサポートを行う。また本事業を通して、自然の家の利用方法を周知し、今後の自然の家の利用促進を図るとともに、自然体験への興味・関心を高める。
集団宿泊教室担当者セミナー (全2回)	5/7 7/27	15人 35人	施設を利用予定の集団宿泊教室担当者に、研修の意義や効果的な利用方法について習得してもらう。また、体験活動における指導者の安全管理意識及び指導技術の向上を図り、充実した集団宿泊教室を実施してもらえるようにする。
森のようちえんもくもく (全7回)	5～3月	31人	田畑で土に触れたり、季節の食材を食したりといった様々な自然体験活動や地域の方々との交流をとおして、保護者と一緒に乳幼児期の子ども達の豊かな感覚や感性を引き出し、育てる。
とよドン家パーク (夏、秋、冬各1回)	7/26 11/23 1/15	391人 14人 41人	自然の家に気軽に足を運んでもらうことで、身近な施設と感じてもらおうとともに、自然の中でのびのびと活動することができる場所と機会を提供する。
とよキッズキャンプ ～秋編～	10/9～ 10/10	24人	様々な体験活動をとおして仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。

### 【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響等で、5事業が中止となったが、新規事業を1事業行った。コロナ禍でも実施できるよう、対象、人数、実施場所などの事業内容の見直しを行い、実施した事業はほぼ定員に達したことは評価できる。

地域の自然等の特色を活かしたプログラムを実施した他、家庭で過ごす時間が多くなる中、自然体験活動の機会を提供できたことは評価できる。

### 3 利用状況

施設名		年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	359 日	294 日	122.1%
	宿泊可能日数	358 日	293 日	122.2%
	利用日数	194 日	166 日	116.9%
	利用率	54.0%	56.5%	95.6%
	利用者実数	5,925 人	5,725 人	103.5%
	利用者延べ数	9,988 人	9,438 人	105.8%
キャンプ場	開館日数	359 日	294 日	122.1%
	宿泊可能日数	358 日	293 日	122.2%
	利用日数	4 日	2 日	200.0%
	利用率	1.1%	0.7%	161.7%
	利用者実数	40 人	14 人	285.7%
	利用者延べ数	80 人	28 人	285.7%
出前講座等	利用者実数	844 人	502 人	168.1%
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>R2 年度は新型コロナウイルスの影響で利用者が大幅に減っていたことから、R3 年度は全体的に大幅な増となっている。利用者が増加した中で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと行い、受け入れを行ったことは評価できる。</p> <p>出前講座については、昨年度比で増加しているが、まだコロナ禍以前の状況と比較すると大幅に減少しているため、利用者を増やすための広報活動を行っていく必要がある。</p>				

#### 4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額 (円)	
利用料金収入	本館	一般 625 人、高校生以下 3,268 人、就学前の者 96 人	1,280,930
	キャンプ場	一般 15 人、高校生以下 7 人、就学前の者 2 人	5,500
	宿泊を伴わない利用	一般 377 人、高校生以下 674 人、就学前の者 130 人	71,400
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	59,984,000	
企画事業等収入	17 事業	196,737	
その他活動収入	出前講座 25 団体	85,800	
プログラム活動料金		264,650	
食事代		7,591,420	
シーツ等クリーニング代		613,530	
雑収入		72,485	
合計		70,166,452	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額 (円)
人件費		41,124,139
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	4,511,089
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	21,618,780
企画事業費		56,370
合計		67,310,378

#### 【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

## 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	令和3年4月1日～令和4年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	108 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	92	85.2	15	13.9	1	0.9	0	0	0	0	0	0
	活動内容	69	63.9	16	14.8	3	2.8	0	0	0	0	20	18.5
	職員の受入れ対応	97	89.8	8	7.4	2	1.9	1	0.9	0	0	0	0
	職員の指導・助言	91	84.3	13	12.0	1	0.9	1	0.9	0	0	2	1.9
	食堂スタッフの対応	66	61.6	15	13.9	1	0.9	0	0	0	0	26	24.1
	食事の質	59	54.6	21	19.4	4	3.7	0	0	0	0	24	22.2
	食事の量	59	54.6	21	19.4	4	3.7	0	0	0	0	24	22.2
	屋内の施設・環境	72	66.7	25	23.1	2	1.9	4	3.7	0	0	5	4.6
	屋外の施設・環境	73	67.6	19	17.6	6	5.6	1	0.9	0	0	9	8.3
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		83	76.9			24	22.2			0	0	1	0.9
利用者からの意見等													
【点検・調査結果及び評価】		<p>新型コロナウイルスの影響で、例年に比べ日帰り利用の団体が多く、食事に関する項目は無回答の割合が増えることとなったが、「食事の質」の評価が全項目の中で最も上昇している点については評価できる。</p>											

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
食事の量が少なかった（スポーツ団体）	以前からスポーツ団体から同様の意見をいただくことがあったため、申込み時に食事の追加注文（炊き上がり米）を促している。食事注文の設定上、利用者が理解しづらい状況であるため、伝え方の工夫や食事注文後に再確認をするなど徹底を図る。
【点検・調査結果及び評価】	
<p>新型コロナウイルスの影響で、バイキング方式から個別配膳方式にしたことにより、個人の食事量を調整しづらい状況がある。追加注文について利用者に伝え方の工夫や注文後の再確認の徹底を図る必要がある。</p>	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
新型コロナウイルスの対応を継続的に行うこと。	<p>これまでの施設の新型コロナウイルス対策の基本である、受入れ・活動制限をはじめ、基本的な対策のマスク着用、手洗い・消毒の徹底、換気など、施設職員はもちろんのこと、利用者の協力のもと、対策を徹底することができた。</p> <p>また、これまでは施設で感染者を出さないことを念頭に対応していたが、昨今の感染状況を鑑み、もし感染者が出てもクラスターにならないことや、感染者を増やさないといった対策にシフトしながら、利用者が安心して利用できる環境を作っていくたい。</p>
予防保全の視点も踏まえた施設管理を行うこと。	<p>毎月定期的実施している安全点検や、活動状況に応じた環境整備などの計画的な実施、大雨・台風など自然災害等の緊急時の対応・確認を徹底するなど、予防保全に努めることで、大きな事故や怪我等無く、安心・安全な施設管理に努めることができた。</p> <p>また、大規模な自然災害時には、避難所としての機能を果たせるよう、県や市とさらなる連携を図っていくたい。</p>
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>新型コロナウイルスの対応については、基本的な感染症対策を継続して実施している。予防保全の視点も踏まえた施設管理についても、毎月の安全点検の実施、自然災害時の対応を徹底している点については評価できる。</p>	

## 8 その他

特記事項なし